

六月二十八日（水）二校時

三原市立糸崎小学校 六年  
社会「天下統一と江戸幕府」第一時

### 授業構成図

#### 本時のねらい

長篠の戦いの絵図を手がかりに、武士の対立や天下統一した人物について興味をもち、学習課題を見出すことができる。

☆キャリアの視点のねらい

課題を発見し、課題解決に向けて意欲を持つ。（課題対応能力）

#### 目指す子どもの姿

S 長篠の戦から天下統一を果たした武将に興味・関心を持ち、その業績を探求しようとする意欲を高めている。

A 長篠の戦いについて調べ、その後の天下統一の過程に興味を持ち、調べようとしている。

つまずきをなくすために

Aに到達できていない姿

長篠の戦いの様子を調べ  
る中で同じ点・相違点に気  
付いていない。

#### 原因

図のどこに目をつけてよ  
いかわかっていない。

机間指導し、どこに着目し  
たらよいか示す。

見通しや実行方法を発想する場面

⑤グループで話し合ったことを発表する。  
T 絵図を見て気付いたことを発表してください。

C 武田軍は馬に乗っているが、連合軍は鉄砲を使っている。

C 武田軍はやりを持っている。  
C 連合軍は木の柵を作っている。  
C どちらも大将は後ろのほうにいる。

C どちらも旗やのぼりを持っている。

C 連合軍のほうが数が多い。  
C 新しい武器を使っている連合軍が有利。

⑥長篠の合戦後の戦い方の変化について予想させる  
①この戦いをきっかけに変わったことはなんだと思いますか。  
C 鉄砲が多く使われるようになった。

C 力のある武将が領土を広げているようになった。  
C 集団で戦うようになった。

C 陣地の置き方や戦い方を工夫するようになった。

⑦これから調べてみたいことを出しあい、単元の学習課題を設定する。

T これからどのようなことを学習していきたいですか。☆  
C 連合軍はどうやってこれだけの鉄砲を手に入れたのだろう。

C 戦いのやり方はどのように変わっていくのだろう。

C この後、どのようにして天下を統一していったのだろう。

C 信長・秀吉・家康について調べた。

C 三原はこのごろどんな様子だったのだろう。  
⑧児童から出された課題を板書し、単元の学習課題を設定する。

戦国の世は、どのように統一されていったのだろう。

⑩本時の振り返りをする。

対象と既存の知識とを関連づけ、対象が生じる原因を類推

問題（課題）を見出す場面

① 戦国時代のことで知っていることを話し合う。

T 戦国武将で誰を知っていますか。

⑨戦国時代に対する関心を高めるため、知っている武将の名を挙げさせ、多くの武将が領地や覇権をめぐる戦ったことを知らせる。

T この年表を見てください。  
（教P64の年表を示す。）  
T 何か気が付くことはありませんか。

C 徳川は豊臣を滅ぼした。  
C 織田信長は本能寺の変で亡くなった。

C 敵同士なのに長篠の戦では一緒に戦っている。

② 学習課題をたてる  
長篠の戦いとはどのような戦いだったのだろう。

③ ルーブリックの設定をする。  
T この時間のAとSを設定しましょう。

自分たちでルーブリックを考えさせ、みんなで共有する。

④ 「長篠合戦屏風」から合戦の様子を見比べ、二つの軍の相違点を見つける。  
T 合戦の様子から気づいたことを書きましよう。

⑤ 絵図から気付いた両軍の相違点を付箋に書かせる。

⑥ 違いが見つけにくい児童に関わっては、机間指導する中で着目する点を示す。

⑤ グループで新しい戦い方、前と同じ戦い方、戦いでの工夫点を整理する。

T PMI図を使って整理していきますましよう。

⑨ 長篠の戦を境に変化したことに気付かせるため、PMI図を使つて整理させていく。

対象と既存の知識との「ズレ」を認識

思考スキル「分類する・位置づける」  
↓  
思考ツール「PMI図」